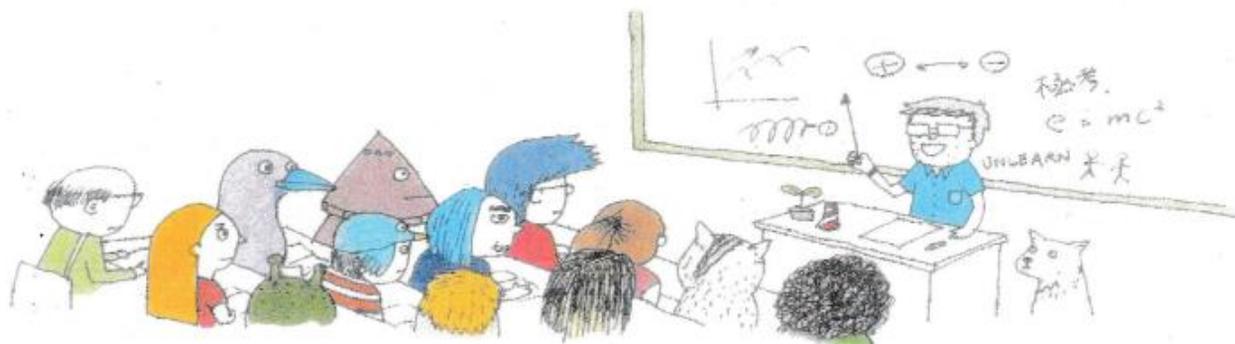


## 日吉台幼稚園 「AI時代に向けて、子供の創脳づくり」

創脳マネジメント研究所 城井信正



パソコン(電腦)というハードを起動させるには基本ソフト(OS)が必要です。人の脳もハードです。起動するには個々人に応じた基本ソフト(**self-OS**)が必要になります。人の脳は、パソコンのような無機的電腦と違い、生物という特殊な生体コンディション(感情、病気など)の中で働く必要があり、その高度なオペレーションを果たすのが「self-OS」です。

人の脳(有機脳)の特徴は、AIの電腦(無機能)に対して、何よりも創造性を有することです。

生物の進化は、元々、創造性進化です。なりたいイメージに向けて身体の機能を進化させてきました。AIの時代に向けて、私たちは、この創造性をAIに対する唯一の優位性として更に鍛え磨いていかねばいけません。

今まで、脳科学者は、創造性は右脳の一機能として捉えられてきましたが、こうした見方ではAI進化による高度化には対応できません。また、人の脳力は社会的に知力(IQ)の高さで判断されてきており、教育も知力偏重(左脳重視)の教育でした。

右脳の一機能という創造性の見方から脱却し、創造性という脳力を脳機能全体において最も上位に位置付け、「self-OS」という基本ソフトで、個々人の全ての能力(知力、感性力、運動能力、情報制御力等)を**創造的にマネジメント**させることが、新たな創造性の立ち位置となります。

「創脳づくり」とは、正に学習した知識、思考力や技術などの能力を創造的にマネジメントさせることで自分がやりたいこと、つくりたいことを可能にするブレン・マネジメントの仕組みを構築することを意味し、その要となるのが「self-OS」です。

教育も、AI時代に向けて「創脳づくり」を目指す**「創育」**に変わらなければなりません。これからの学校は、学ぶ場であると共に、「self-OS」を構築していく場になります。

「self-OS」を構築するとは、「自己形成」を意味します(学校は自己形成の場とも言えます)。

「self-OS」は自己形成の現われとして、個々人の個性(ブランド)です。一生を通じ、バージョンアップさせることで創造的マネジメントが可能となります。

“創造的マネジメントですべての能力を活かそう”